

金沢市伝統工芸品産業アクションプラン（骨子案）についての パブリックコメントでの意見と金沢市の考え方（回答）

募集期間 平成22年1月26日～平成22年2月24日

「金沢市の考え方」欄の記号の説明

- ：骨子案を確定する際に、意見の趣旨を反映させていただいたもの。
- ：意見の趣旨がすでに<原案>に盛り込まれているもの。（賛成意見を含む）
- ：今後、施策・事業を検討・実施する際に市が参考にすべきもの。
- ：検討した結果、意見の趣旨を反映できなかったもの及びその他の意見・要望で骨子案では対応できないもの。

No	意見の概要	金沢市の考え方
1	伝統工芸といっても、業種ごとに抱える問題も異なり、また状況もさまざまである。業種ごとの対応はどうフォローしていくのか。	各産地組合ごとに振興計画の策定を促し、その経費を助成することとしています。また、アクションプラン策定後、推進協議会を設置し、全体の進捗状況を検証することとしています。
2	金沢の伝統工芸品は26種類とあるが、すでに後継者の絶えてしまった業種もいくつかある。それをここに含めるのは無理がないか。もしくはそれら業種を復活させていくのか。	平成22年度から「希少伝統工芸復刻研究事業」を行い、産業の可能性を検討しながら後継者不在となった希少伝統工芸の復刻研究を行うこととしています。
3	「4つの将来像」における「作り手が躍動するまち」の説明として、「ネットワークの形成を進めていく」とあるが、「(業種を超えた)ネットワークの形成を進めていく」ことで、「手仕事を発展させる」ことができ、また、「作り手たちが自在に連携できる」のではないか。また、全体的にわかりやすい説明にできないか。	<p>以下のように見直します。</p> <p>(旧)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「平成の百工比照」の収集・作成など伝統技術の記録・保存を進める一方、熱意のある若い世代の参入を促進し、技術の確実な継承を図る。また、職人の持つ技術にさらに磨きをかけ、業種を超えた研修会、交流を支援し、作り手同士の多様なネットワークの形成を進めていく。 ・伝統に裏打ちされた高い技能と洗練された感性を備えた意欲ある作り手たちが自在に連携し、自由な創意と工夫により、現代に生きる人々の心を動かす工芸品を生み出すことができる、作り手が躍動するまちを目指す。 <p>(新)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「平成の百工比照」の収集・作成や、産業の可能性を検討しながら希少伝統工芸の復刻研究を行い、伝統技術の記録・保存を進めるとともに、熱意のある若い世代の参入を促進し、技術の確実な継承を図る。 ・また、業種を超えた研修会、交流を支援し、作り手同士の多様なネットワークの形成を進めていくことで、手仕事を発展させ、作り手たちが自在に連携できる、作り手が躍動するまちを目指す。